

令和7年度 県立笠間高等学校学校関係者評価表

評価項目	評価	評価者からの意見等
1. 本年度重点目標の達成状況についての自己評価は妥当か	<input checked="" type="radio"/> A 妥当である <input type="radio"/> B おおむね妥当である <input type="radio"/> C あまり妥当でない <input type="radio"/> D 妥当でない	<ul style="list-style-type: none"> ・カリキュラムポリシーに沿った形で、3つの学科の特色を生かしながら、重点項目が達成されていることが評価できる。 ・基礎学力の定着と学力向上についても十分に評価できる内容になっている。 ・外部コンテスト入賞や地域連携活動は学校の特色を十分に発揮している。
2. 学校の具体的目標及び具体的方策の達成状況についての自己評価は妥当か	<input checked="" type="radio"/> A 妥当である <input type="radio"/> B おおむね妥当である <input type="radio"/> C あまり妥当でない <input type="radio"/> D 妥当でない	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度の成果については、進学・就職ともに評価できる結果になっている。 ・メディア芸術科の教育内容や探究型学習の推進は学校の特色として評価できる。 ・生徒の問題行動について、SNSトラブル等は迅速な対応に期待したい。
3. 学校は次年度への主な課題を把握しているか	<input checked="" type="radio"/> A 十分把握している <input type="radio"/> B おおむね把握している <input type="radio"/> C あまり把握していない <input type="radio"/> D 把握していない	<ul style="list-style-type: none"> ・学力差への対応、進路指導の充実、広報活動による志願者確保などの課題が整理されており、次年度に向けた課題認識は概ね適切である。 ・多様な生徒に対する指導は大変かと思うが、十分に課題の把握がなされている。 ・AI活用は積極的に進めてほしい。また、プロンプトリテラシーの育成にも取り組んでほしい。
4. 学校の改善方策への対応は適切か	<input checked="" type="radio"/> A 適切である <input type="radio"/> B おおむね適切である <input type="radio"/> C あまり適切でない <input type="radio"/> D 適切でない	<ul style="list-style-type: none"> ・急激に変容する社会状況を十分に理解して積極的な教育改善を進めていることは十分に評価できる。 ・生徒の学習意欲向上と基礎学力定着に向けた継続的な取組が望まれる。 ・地域等との連携等の教育活動を今後も進めていただきたい。
5. その他（各学校の状況に応じて設定） これからの笠間高校はどのような方向に進んでいくのが望ましいか、ご記入ください。		<ul style="list-style-type: none"> ・普通科については、基礎学力の充実にしっかりと取り組んでほしい。美術科、メディア芸術科については、時代の要請に対応する多様な取組を十分にしていきたい。 ・美術科、メディア芸術科の取組、成果が大変素晴らしい。心の教育を目指したボランティア、地域の信頼を目指した発信のさらなる充実に期待。 ・広報活動を強化し、志願者確保と学校の認知度向上を図ることが重要である。

※ 「学校関係者評価」は、学校の自己評価結果をふまえて行うこととします。学校関係者評価における評価者とは、各学校の生徒の保護者や、各学校の教職員を除いた学校と直接の関係のある者及び大学教員等の学校と直接の関係を有しない有識者とし、学校評議員も評価者に含まれます。